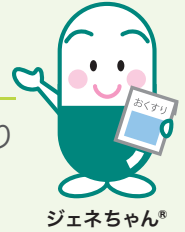


「新薬」と「ジェネリック」。正しく知って、賢く選びましょう。

ジェネリック医薬品

📌 新薬と同等の効き目で価格が安いお薬です

ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分を同じ量使用してつくられており、効き目や安全性が新薬と同等であると確認されています。



ジェネリック医薬品の特徴

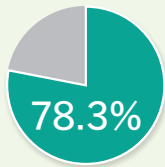
有効成分	有効成分の量	効き目	安全性	お薬代	形状・色・味
新薬と 同一	新薬と 同一	新薬と 同等	新薬と 同等	新薬より 安い	飲みやすく 工夫された製品 もあります

また、新薬と比べて開発にかかる費用が少ないため、お薬代が安くなります。



📌 ジェネリック医薬品は多くの人に選ばれています

ジェネリック医薬品の
数量割合



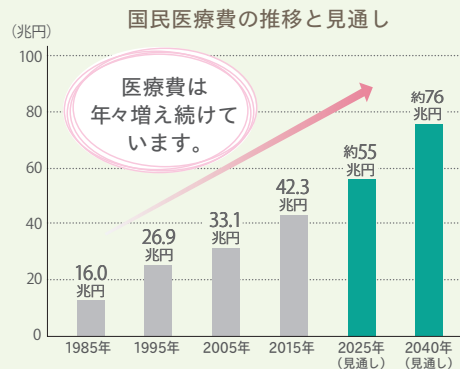
日本ではここ10年でジェネリック医薬品を選択する患者さんが増え、現在はジェネリック医薬品に切り替えられるお薬のうち、78.3%がジェネリック医薬品に切り替わっています。

引用：中医協「令和2年医薬品価格調査(薬価調査)の速報値について」(令和2年12月2日)より作成

📌 医療費を抑制するため、国が推進しています

私たちが医療を受けるための費用(医療費)は、年々増加し、国の財政を圧迫しています。
そのため、医療費を抑える選択肢のひとつとして、ジェネリック医薬品を国が推進しています。

引用：
・1985年～2015年実績：厚生労働省「平成30年度国民医療費の概況」
・2025年～2040年見通し：内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省
「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」(平成30年5月21日)より作成

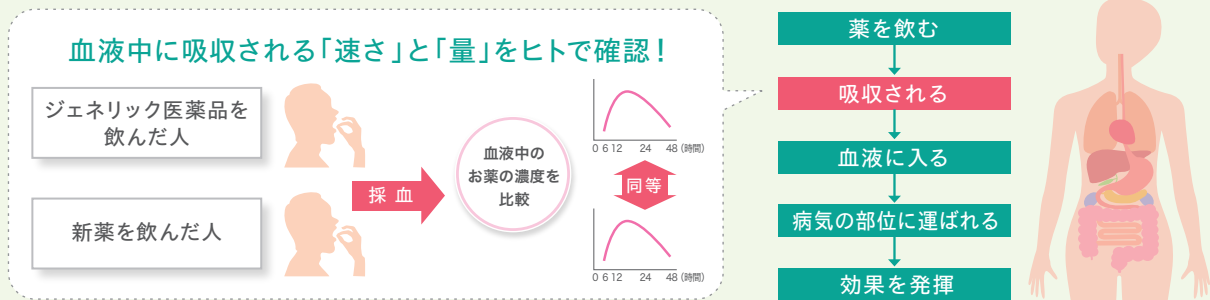


ジェネリック医薬品をもっと詳しく知りたい方へ [裏面もご覧ください](#) →

🍬 効き目、安全性が同等であることを試験により確認しています

お薬は胃や腸で吸収され、血液に乗って病気の部位へ運ばれて効果を発揮します。
ジェネリック医薬品と新薬で血液中に吸収される「速さ」と「量」が同じであれば、**効き目、安全性は同じです。**ジェネリック医薬品は、**血液中に吸収される「速さ」と「量」が新薬と同等であることをヒトでの試験^{*}で確認し、国から承認されています。**

※正式には、生物学的同等性試験といえます



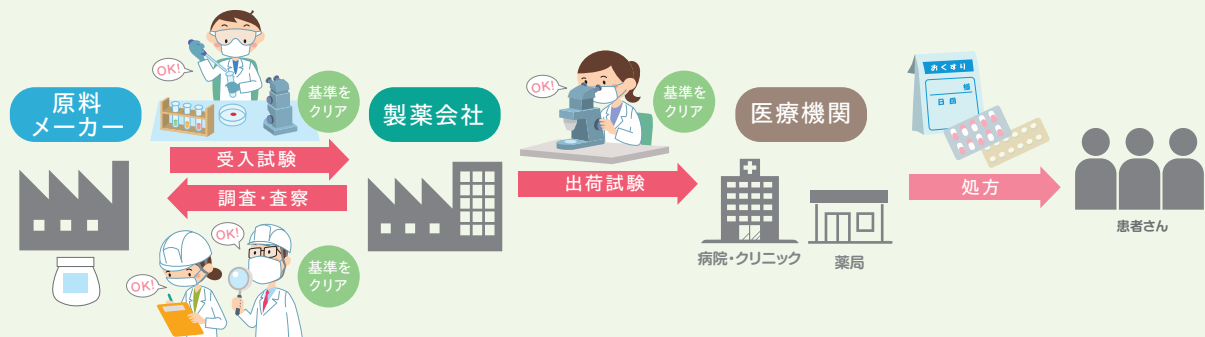
🍬 国が定めた品質基準を満たすお薬だけをお届けしています

お薬は、**国が定めた厳しい品質基準**を満たさなければ出荷されません。

原料^{*}は、**国が定めた品質基準を満たすもの**を使用しています。

原料やお薬をつくる工場も、**品質維持のために定期調査を実施**しています。

※原薬(お薬の作用をしめす成分、有効成分)、添加物



🍬 最新の技術で、扱いやすく飲みやすくなる工夫をしています

お薬をつくる技術は日々進化しており、その**最新の技術を取り入れて開発できるのが**、ジェネリック医薬品ならではの強み。**扱いやすく、飲みやすい**よう様々な工夫をしています。

